

# 武蔵野市 新型コロナウイルス感染症に係る くらしの安心をまちの活力につなげる 対応方針

令和2年11月25日

# 》 暮らしの安心をまちの活力につなげる対応方針

- 市では、1月31日に武蔵野市新型コロナウイルス感染症対策本部を設置し、対策に関する基本的な考え方や2回にわたる対応方針を策定し（5月13日、7月16日）、感染拡大防止対策などの緊急対策や経済対策等に取り組んできました。
- これまでは、国や都の支援を補完する形で、感染拡大防止対策、セーフティネット施策、まちの経済を守る施策や、ひとり親世帯等に対する市独自の臨時給付、子ども・子育て応援券の拡充等の子ども・子育てを支える施策などを実施しました。さらに、令和3年度の都市計画税の減税を行うことを決定しています。
- 全国各地の新規感染者数が過去最多を更新し、11月19日に東京都の感染状況が最も高い警戒レベルに引き上げられる中、今回は、本市に暮らす市民の日常生活を支援する「武蔵野市暮らし地域応援券事業」を中心として、感染拡大防止対策の拡充、コロナ禍において誰もが安心して暮らし続けられるための福祉体制の充実や、芸術文化を楽しむ環境づくり等の対応方針を策定し、総額8億3,169万円の支援策をまとめました。

## 1 暮らしを守り、まちの活力につなげる支援策

## 2 いのちを守るための感染拡大防止対策の拡充

## 3 誰もが安心して暮らし続けられるための福祉体制の充実

## 4 暮らしと心を豊かにする芸術文化等を楽しむ環境づくり

# 1 くらしを守り、まちの活力につなげる支援策

本市に暮らす市民の日常生活を支援し、まちの活力につなげるため、市独自のくらし地域応援券事業を実施します。また、事業者への支援が引き続き必要なことから、「ほっとらいん」の開設期間を延長しています。

	事業	備考
1	<b>武蔵野市くらし地域応援券事業の実施</b> <<別紙【資料3】参照>> ➤ 本市に暮らす市民の生活支援、市内事業者支援及び地域の活性化を目的として、一人あたり5,000円の応援券を発行し、在住市民全員に配布します。一人あたり500円券×10枚のセット（大型店を含めた参加店舗に使えるA券4枚、大型店を除く参加店舗に使えるB券6枚）で、購入金額1,000円（税込）以上で1枚使用可能な券を発行します。生活必需品を扱う店舗や飲食店のほか、小売店や医療機関などでも利用できるよう参加店舗を募集します。武蔵野商工会議所と市の共催事業とし、武蔵野市商店会連合会・武蔵野市医師会などの関係団体と連携して事業を実施します。	<b>事業費</b> <b>6億3,705万円</b>
2	<b>事業者支援「ほっとらいん」の開設期間延長</b> ➤ 市内事業者をサポートするため、市独自の支援策や国・都が実施している各種支援制度の適切な窓口を案内するコールセンターや、中小企業診断士等による申請書類の確認などの相談窓口を開設しています。事業者への支援が引き続き必要なことから、開設期間を令和3年1月29日まで延長しています。	<b>延長</b>

## ≫ 2 いのちを守るための感染拡大防止対策の拡充

今後の感染拡大リスクに備え、高齢者及び障害者施設・接待を伴う飲食店におけるPCR検査を実施します。また、本市のPCR検査センターの開設期間を延長します。

	事業	備考
3	<b>高齢者及び障害者施設における利用者・職員を対象としたPCR検査費用助成の実施</b> ≪別紙【資料4】参照≫ ➢ 感染拡大と重症化リスクの高い高齢者及び障害者施設（グループホームや通所系事業所等）において利用者・職員を対象としたPCR検査等を実施する場合にその費用を助成します。【都補助】	<b>事業費 7,520万円</b>
4	<b>接待を伴う飲食店の従業員を対象としたPCR検査の実施</b> ➢ 繁華街に対する重点的な感染拡大防止対策として、市内の接待を伴う飲食店の従業員を対象としたPCR検査を実施します。風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律第2条第1項第1号の許可店舗に対して、PCR検査実施の案内を行い、店舗ごとに申し込みを受け付け、専門事業者によるPCR検査を実施します。【都補助】	<b>事業費 806万円</b>
5	<b>武蔵野市PCR検査センターの開設期間延長</b> ≪別紙【資料5】参照≫ ➢ 引き続き感染拡大防止を図るため、市医師会や医療機関等と協力して市内医療機関の敷地内（非公開）に設置したPCR検査センターの開設期間を令和3年3月31日まで延長します。	<b>事業費 1,206万円</b>

## ≫ 2 いのちを守るための感染拡大防止対策の拡充

	事業	備考
6	<b>高齢者インフルエンザ定期予防接種の全額公費助成</b> ➤ 新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの同時流行が懸念される中、重症化リスクの高い高齢者等に対する早期のインフルエンザ定期予防接種を促すため、令和2年10月から令和3年1月までの期間、接種日当日65歳以上等の市民の予防接種の自己負担分について、市の一部助成から全額助成に変更し実施します。【都補助】	<b>事業費 8,097万円</b>
7	<b>介護サービス事業所への感染防止用品の配送</b> ➤ 東京都から配布される介護サービス事業所向けの感染防止用品を、市から各事業所へ配送します。【都補助】	<b>事業費 35万円</b>

## 3 誰もが安心して暮らし続けられるための福祉体制の充実

誰もが安心して暮らすことができるよう、介護者である家族が新型コロナウイルスに感染した際の緊急一時的な対応を充実するとともに、生活を支える介護・看護職の就職を支援するReスタート支援金を継続して実施します。また、生活に困っている方への支援体制を強化します。

	事業	備考
8	<p><b>障害者を在宅で介護している家族が新型コロナウイルスに感染した際の緊急一時的な施設受入体制の整備</b> &lt;&lt;別紙【資料6】参照&gt;&gt;</p> <p>➢ 障害者を在宅で介護している家族が新型コロナウイルスに感染した場合、障害者が緊急一時的に施設へ短期入所して介護を受けることで、障害者への感染防止と家族が安心して療養に専念できる環境を整備します。【都補助】</p>	<p><b>事業費</b> <b>338万円</b></p>
9	<p><b>高齢者を在宅で介護している家族が新型コロナウイルスに感染した際の市独自の緊急一時的な対応の継続実施</b></p> <p>➢ 高齢者を在宅で介護している家族が新型コロナウイルスに感染した場合、家族が安心して療養に専念できるようにするため、引き続き、感染症対応レスキューヘルパー（高齢者等緊急訪問介護）事業を実施するとともに、必要に応じて高齢者等緊急短期入所事業なども活用して対応します。</p>	<p><b>継続</b></p>
10	<p><b>介護職・看護職Reスタート支援金の継続実施</b></p> <p>➢ 新型コロナウイルス感染症の影響により、介護人材不足が一層懸念されます。介護人材不足は今後も続くことが見込まれるため、即戦力となる介護職員等の再就職や介護業界へ新たに就職する方に対し、支援金（資格を有する常勤職員：15万円、資格を有しない常勤職員：5万円）の支給を継続して実施します。</p>	<p><b>事業費</b> <b>210万円</b></p>
11	<p><b>生活困窮者への支援体制の強化</b></p> <p>➢ 新型コロナウイルス感染症の影響による住居確保給付金を含む自立相談支援事業の対象者の増加に対応するため、相談員を増員し相談支援体制を強化します。【国補助】</p>	<p><b>事業費</b> <b>1,252万円</b></p>

## ≫4 くらしと心を豊かにする芸術文化等を楽しむ環境づくり

コロナ禍にあって、心の豊かさや創造性をはぐくむこと、人とのつながりが改めて求められています。リアルの場合、オンラインでの場合を含め、芸術文化にふれる環境づくりを充実します。

	事業	備考
12	<b>文化施設使用料の減額による芸術文化関係者・アーティスト支援</b> ➤ 芸術文化活動に携わる方々の公演・展覧会等の開催を支援し、まちの活性化を図ります。令和3年3月31日使用分まで、劇場・ホールにおいて、公演や展示を行う目的で施設を使用する場合の施設使用料の50%を減額しています。	継続
13	<b>安心して楽しめる公演の実施</b> ➤ 市立文化施設では、市民が安心して芸術文化を楽しんでいただけるよう、スタッフを含む入場者の発熱チェック、マスク着用、手指の消毒など、万全の感染防止対策を行った上で、各種公演を実施しています。公演等においては、市内アーティストとも連携し、活動の場の充実にもつなげています。【国補助】	継続
14	<b>自宅で楽しむ動画コンテンツ等の充実</b> ➤ 自宅で過ごす時間をより楽しく、豊かにできるよう、文化、生涯学習、スポーツ、健康づくり、野外活動、子育て、環境啓発などに関して、動画を使った参加型のワークショップやYouTubeで動画コンテンツ、Facebookで武蔵野アール・ブリュット作品画像などを随時配信しています。	継続